
神のおしおきゲーム

澪香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神のおしおきゲーム

【著者名】

Z9558Z

【作者名】

澪香

【あらすじ】

お父さんの仕事の事情で〇県に引っ越してきた少女　山田琴音と
天使　ミカエルがえがく　ファンタジー物語です

第一話 天使 現れる！！！

「ねえ神様つていると思つ？？」

「ええいるはずないじゃん！！」

そんな空想の世界の人物なんかいるはずない・・・そう思つていた

「たしかにでもいたら楽しそうじゃない琴音？」

そう言つて篠岡萌は私に質問してきた

「いたら楽しいかもね」

もちろん嘘だ・・・いてもいなくとも人生なくも変わらないだろう

あと私の名前は山田琴音やまだことねだ

「そうだねえ楽しそう」

キンコーンカンコーン

そう言つていつもとあんまり変わらないファンタジックな話は終
わつた

帰り道

たしかに神様がいても別にいいと思うがいたとして地球上の大人
数の人間の願いをどうやってきくのだろうか・・・

家

「ただいまー」

ソファにすわり机の上のチラシをよける・・・

「な・・・なにこれ！…！」

私は突然、声をあげた

「この家が売られているのだ

「お母さん・・・」『れ！…！』

「ああ引っ越すから売ったのよ・・・あつ言ひてなかつたつけ。荷物まとれといでねー」

「ねえどひじて引っ越すの？？？？」

「お父さんの仕事の事情よー」

「う・・・嘘でしょ・・・何かのまちがい・・・そう思つた

「ただいま」

お父さんが帰ってきた

「お父さんー、びりして引っ越すの？」

「会社が倒産したんだ・・・だから前に住んでた〇県に引っ越すんだよ」

「と・・・倒産」

次の日

今日は金曜日・・・引っ越しの日は土曜日と言っていたので今日は皆にお別れを言わなくちゃいけない

キンコーンカンコーン

結局、お別れができないまま引っ越しとなってしまった

〇県

「じいが新しい家・・・前にお父さんが住んでたから、ちょっと汚い・・・

月曜日

今日は新しい学校へ

「転校してきた山田琴音です。よろしくお願いします」

休み時間になると3人の女子が話しかけてくれた

「ねえ何処から引っ越してきたの?」

「どうして引っ越してきたの？」

「今度、遊ばない？いろいろ案内してあげる」

そんなことを言われ、放課後には友達といふるべうにまで仲良くなつた

次の日

私は1人で学校へ机にはシネなどひどい言葉ばかり

「な・・・誰がこんな事を・・・」

「私がやつたの・・・いきなり転校してきて、それだけでもウザいのにすぐ皆になじんで、ウザいんだよねそういうの…」

後ろから声がした振り向くとクラスの中心人物の杉本里奈すぎもと りなだった

「なんでこんな事するの？」んなのイジメだよ…

「え？何て言ったの？聞こえな———」——「私のお父さんはこの校長よ変に言つとどうなるかわかつてゐるの」

なんて女だ・・・私はそう思った

休み時間

里奈のせいなのか話してくる人は誰もいなかつた

家

「こんなときに神様がいたら・・・そつ思つた

ピロワーン メールの音だ

なんだろ？・・・

宛て先 神

件名 契約

本文 神と契約し悪人をおしおきしたいのなら
下の部にサインしてください

――――――――――――――――――――――――

神と契約？？ホントだつたら凄いことだ

私は遊び半分でPCで使つてるサインを書き送信した

そのときだつた周りが白く光、気がつくと雲の上…？にいた

「あわああ

「どうしたのですか？」

そこには1人の少女

「お・・・・おちるだろ・・・・あれ・・・・なんでおりない・・・」

「「」」」は時空の歪みでちょっと変なんですよ」

・・・意味不明だ説明が変なのかそれとも「」」」が変なのか分から
ない

「あなたは神と契約しました。契約条件として悪にならない事、善
を突き通す事、天使である私と行動をともにする事ですが、よろ
しいですか？」

・・・せつぱり意味がわからんぞ

「ていうことは、お前は天使か？」

「はー!ー!ー!ミカエルともうつます」

なんて「」」た神が本当にいるとは・・・

「分かった・・・契約する」

「はー!ー!ー!分かりました」

そういうことミカエルはペココとお辞儀をし、ビニカへ走つていった

気がつくと自分の部屋にいた

第一話 木下みかん？現る

気がつくと自分の部屋にいた

次の日

里奈ははたして悪人に入るのだろうか・・・

キンコーンカンコーン

今日もいちだんと机に落書きが・・・先生は気づいてるのだが気づかないふりをしている

「きょ・・・今日は転校生がきています」

ドアが開きそこから出てきた人はどうからどうみてもミカエルだつた。

あいつはいじめの対象になりやすそうだ

「えつと・・・その・・・木下ミカンです」

男子にはだいぶ評判があり、里奈は手を出しづらこらしい

みかん《ミカエル》とはなぜか隣の席だった

「あつ・・・琴音さん契約条件のためにここに転校してきました」

ペーリとみかんはお辞儀をし席に座つた

「ウザイ」

ぼそりと聞こえた里奈の声・・・みかん・・・ドンマイ

休み時間

「あのあ・・・もしかしてあそこにあるかたが悪人の対象ですか?」

「あつああ私からしたらだけどな・・・」

「たしかに氣の強そうな感じでよく死ねとかウザイとか言つてますよねえ」

「じやあさつそく神のおしおきを始めますか?」

「待て待て待て待て待て待て待て説明しろ・・・」

「あつしませんでしたっけ・・・」

「昨日ひょっとあつただけと今はなしてだけだら・・・」

「ああ忘れてましたアハハー・・・はつきりいってやつてみないとわかんないですよ?」

みかんは笑顔で笑つていつた・・・

「じゃあさっそくやりますね・・・神ロード・・・オープン」

みか・・・嫌・・・ミカエルはそういう手と手でパンと音を鳴らす

「あつあれはなんなんだ!??」

私は指を指す・・・そこには黒い物体があった

「あれは悪のかたまりです。あれを消し善だけの世界にする、それが私達、天界の住人の計画です」

第三話 神のゲームの始まり!!

「あれは悪のかたまりです。あれを消し善だけの世界にする、それが私達、天界の住人の計画です」

計画

「じゃあいきますよあ・・・女神流第1機・神術の刀！！」

ああこれは非現実的な

「琴音さん！これで悪のかたまりを斬つてください！-」

「斬るつて……あれを……！」

「はい！」

無茶を言うなこの天使は！！

「私に悪を斬れと・・・」

「あのお斬りないと里奈さんの善惡の悪が消えません!! 最低限に斬らないと、いじめも終わりません!!」

なるほど・・・って死ぬ可能性もあるんじゃないかあ??

「え？ ともかくして命がけ？ ？」

「あたりまえじゃないですか！！」

ミカエルは予想以上の笑顔で言つた・・・ちょっと不気味に見えた
しかたない・・・言い訳しても終わらないだろう・・・
私は、悪のかたまりに向かつて走る・・・
「おりやああああああああ！」
ぐにゃ
突き刺した感触が気持悪い・・・
「おおさすがです！！」
さすが・・・って私は特に剣道とか習つてないし普通の人間だぞお
「あつ琴音さん！後ろ！！」
私は後ろを向くと悪のかたまりがもう田の前にいた
「キヤアアアア――」
私が悲鳴をあげる
「女神流第3機・神の盾！」
田を開けてみてみるとなぜか生きている・・・周りには何か迷路
のよつた不思議な模様の丸い物体の中に入っていた

「だ・・・大丈夫ですか？？」

ミカエルだつた

「ああ大丈夫だ・・・つてお前も戦えたのか！！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9558z/>

神のおしおきゲーム

2011年12月31日20時54分発行